

《よこしん》 景況レポート

NO.132
2024年7月

YOKOSHIN BUSINESS INFORMATION

景気動向調査	1
2024年4～6月期実績、7～9月期予想	
◇ 全業種総合 業況・売上額・収益 DI 共に改善、 来期も業況・売上額・収益 DI 共に改善が継続する見込み	2
◇ 製造業 業況・売上額・収益 DI 共に改善、 来期も業況 DI は改善が継続する見込み	3
◇ 卸売業 業況・売上額・収益 DI 共に改善、 来期も業況・収益 DI 共に改善が継続する見込み	4
◇ 小売業 業況・売上額・収益 DI 共に改善、 来期は業況・売上額・収益 DI 共に悪化する見込み	5
◇ サービス業 業況・収益 DI 共に改善、 来期は業況・売上額・収益 DI 共に改善する見込み	
◇ 建設業 業況 DI は悪化に転じるもプラスを維持、 来期は業況・売上額・収益 DI 共に改善する見込み	6
◇ 不動産業 業況 DI は悪化しマイナスに、 来期は業況・売上額・収益 DI 共に悪化する見込み	
◇ コメント	7
特別調査「中小企業における災害等への対応について」	8
・どのような災害を意識しているかについて	地震（37.1%）
・災害への備えについて	
災害への備えに対する自己評価	どちらかというとできている（42.9%）
災害にあった際に自社の備えに対する自己評価	どちらかというとできている（33.6%）
・事業継続にかかる保険の加入状況と加入しない理由	財産補償・休業補償の両方に加入（37.9%）
・建物の耐震対応と自社所在地周辺のハザードマップの確認状況について	
建物の耐震について	どちらかというとできている（34.8%）
自社所在地周辺のハザードマップの確認状況	確認し大きな問題はなかった（51.3%）
・災害時の対応について	
現預金の保有状況	売上の1～3か月分（41.5%）
災害対策金融支援の利用状況	コロナ禍の時に受けたことがある（61.8%）

このまちの未来をともにつくる



横浜信用金庫

景気動向調査

2024年4~6月期実績、7~9月期予想

《概況》

業況DI(全業種総合)は改善、来期も改善が継続する見込み

今期の全業種総合業況判断DIは、前期比1.5ポイント上昇の6.7と改善した。

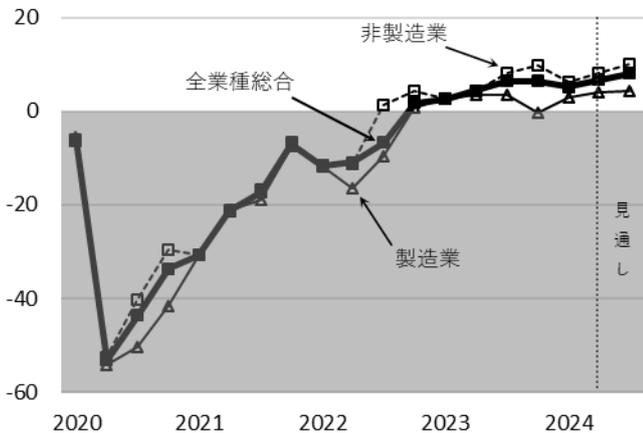
製造業は前期比0.8ポイント上昇の3.9、非製造業は同1.7ポイント上昇の8.0となった。

来期の全業種総合業況判断DIは、今期比1.4ポイント上昇の8.1と改善の継続を見込む。

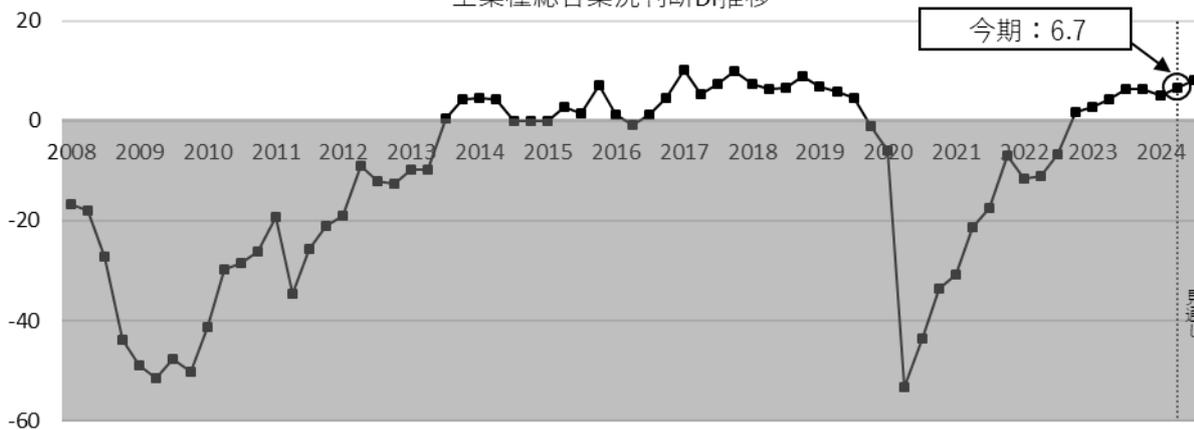
< 業況DI天気図 >

	2024年 1-3月	4-6月	(予想) 7-9月	方向
全 体	5.2	6.7	8.1	↗
製 造 業	3.1	3.9	4.4	↗
非 製 造 業	6.3	8.0	10.0	↗
卸 売 業	2.8	11.3	16.9	↗
小 売 業	▲17.2	▲2.2	▲5.4	↘
サ ー ビ ス 業	4.1	10.1	11.1	↗
建 設 業	24.6	18.5	25.2	↗
不 動 産 業	13.4	▲3.0	▲4.5	↘

業種別業況判断DI推移



全業種総合業況判断DI推移



《調査要領》

- 調査時期/2024年6月上旬
 - 調査対象/当金庫取引先(法人・個人事業者)
 - 調査方法/営業店職員による聞き取り調査
 - 分析方法/DI(Diffusion Index)による分析
- ※DIとは、「良い・増加・上昇・過剰」の回答全体に占める割合と「悪い・減少・下降・不足」の回答全体に占める割合との差を表し、景気判断や景気変化の方向を計る数値

	調査先	回答先	回答率
製 造 業	228	228	100.0%
卸 売 業	71	71	100.0%
小 売 業	93	92	98.9%
サ ー ビ ス 業	99	99	100.0%
建 設 業	119	119	100.0%
不 動 産 業	67	67	100.0%
合 計	677	676	99.9%

< 今 期 >

業況・売上額・収益DI共に改善

今期の全業種総合業況判断DI（良い－悪い）は、前期比1.5ポイント上昇の6.7となり、改善に転じた。

売上額DI（増加－減少）は前期比3.2ポイント上昇の15.2、収益DI（増加－減少）は同2.2ポイント上昇の4.9となった。

販売価格DI（上昇－下降）は前期比1.3ポイント上昇の27.5、仕入価格DI（上昇－下降）は同5.5ポイント上昇の50.0となった。

在庫DI（過剰－不足）は前期比1.2ポイント低下の1.6、資金繰りDI（楽－苦しい）は同4.4ポイント上昇の-0.9となった。

借入実施企業割合は26.8%と、前期比0.1ポイント上昇した。設備投資実施企業割合は、同1.6ポイント低下の12.6%であった。

雇用面では人手DI（過剰－不足）が、前期比4.6ポイント上昇の-19.8となった。

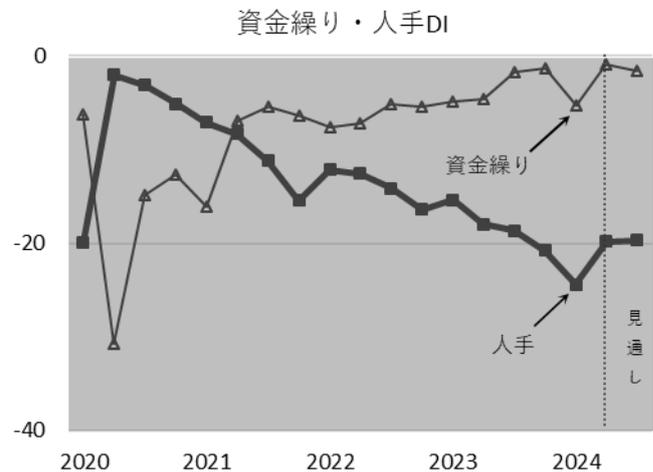
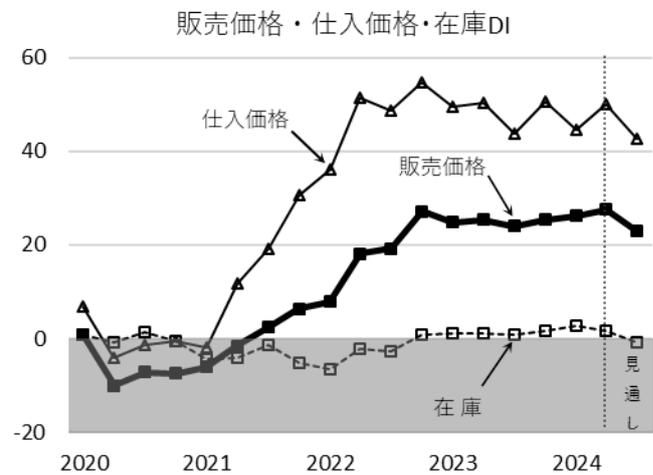
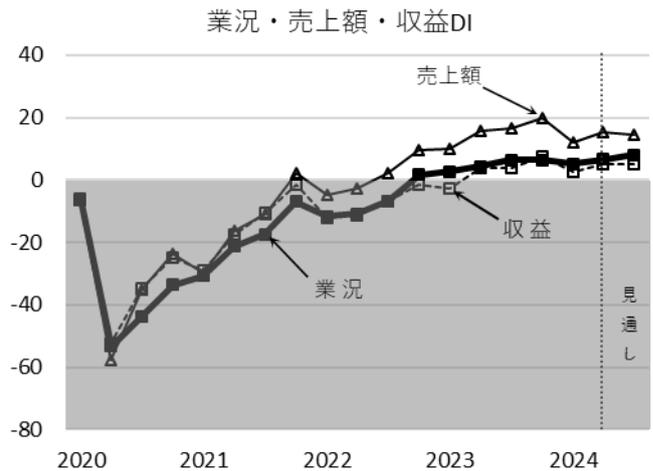
< 来 期 >

来期も業況・収益DI共に改善が継続する見込み

来期の全業種総合業況判断DIは今期比1.4ポイント上昇の8.1、売上額DIは同0.9ポイント低下の14.3、収益DIは同0.1ポイント上昇の5.0となり、業況・収益DIは共に改善の継続を見込んでいる。

販売価格DIは今期比4.6ポイント低下の22.9を見込んでいる。仕入価格DIは同7.4ポイント低下の42.6を見込む。

人手DIは今期比0.1ポイント上昇の-19.7と小幅ながら改善の継続を見込んでいる。



< 全業種総合 主要DI >

	2023年		2024年		(予想)	方向
	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	
業況判断	6.5	6.4	5.2	6.7	8.1	↗
売上額	16.4	20.0	12.0	15.2	14.3	↘
収益	4.0	7.4	2.7	4.9	5.0	↗
販売価格	24.0	25.4	26.2	27.5	22.9	↘
仕入価格	43.8	50.5	44.5	50.0	42.6	↘
在庫	0.7	1.6	2.8	1.6	▲0.9	↘
資金繰り	▲1.8	▲1.3	▲5.3	▲0.9	▲1.6	↘
人手	▲18.7	▲20.8	▲24.4	▲19.8	▲19.7	↗

< 今 期 >

業況・売上額・収益 DI 共に改善

今期の業況判断DIは、前期比0.8ポイント上昇の3.9となった。

売上額DIは前期比3.5ポイント上昇の15.4、収益DIは同2.2ポイント上昇の5.7であった。

販売価格DIは前期比1.1ポイント上昇の26.3、原材料価格DIは同4.6ポイント上昇の55.3となった。

原材料在庫DIは、前期比2.6ポイント上昇の5.7、資金繰りDIは、同7.5ポイント上昇の-0.4となった。

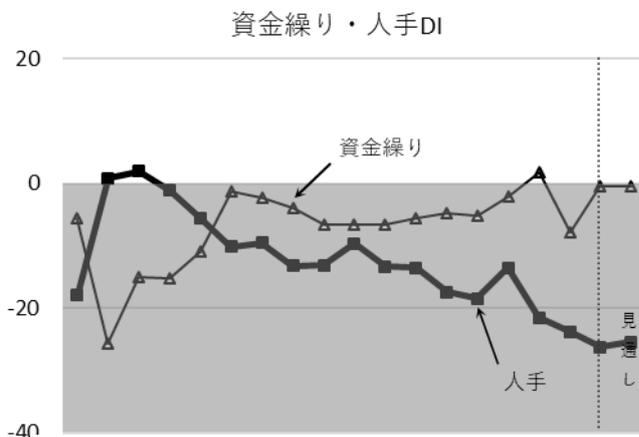
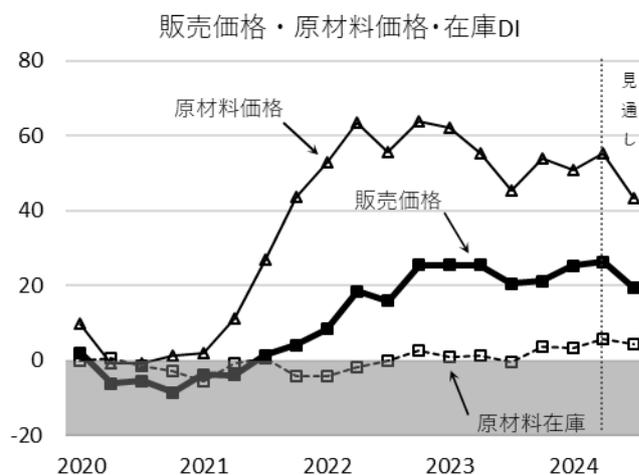
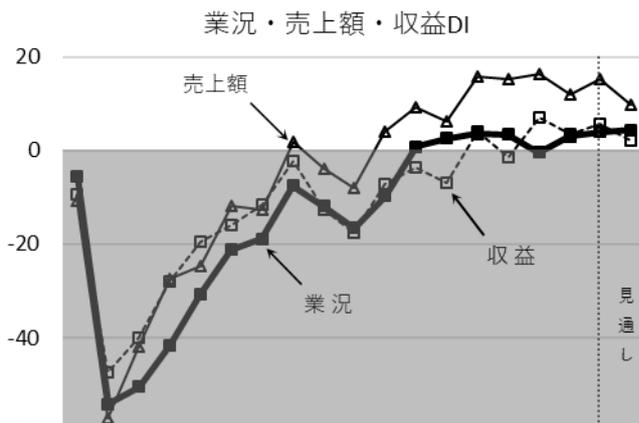
借入実施企業割合は24.2%と、前期比2.2ポイント低下した。設備投資実施企業割合は、同3.7ポイント低下の14.5%であった。

人手DIは、前期比2.5ポイント低下し、-26.3となった。

< 来 期 >

来期も業況 DI は改善が継続する見込み

来期の業況判断DIは今期比0.5ポイント上昇の4.4、売上額DIは同5.8ポイント低下の9.6、収益DIは同3.5ポイント低下の2.2を見込んでいる。



< 製造業 主要DI >

	2023年		2024年		(予想)	方向
	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	
業況判断	3.5	▲0.4	3.1	3.9	4.4	↗
売上額	15.3	16.3	11.9	15.4	9.6	↘
収益	▲1.3	7.0	3.5	5.7	2.2	↘
販売価格	20.5	21.1	25.2	26.3	19.3	↘
原材料価格	45.4	53.7	50.7	55.3	43.4	↘
原材料在庫	▲0.4	3.5	3.1	5.7	4.4	↘
資金繰り	▲2.2	1.8	▲7.9	▲0.4	▲0.4	→
人手	▲13.6	▲21.6	▲23.8	▲26.3	▲25.4	↗

< 個別業種 >

改善が2業種、悪化が4業種

< 業種別 業況判断DI >

< 今 期 >

10社以上回答のあった個別業種（7業種）の業況判断DIは、改善が5業種、悪化が2業種であった。

金属プレス・メッキは前期比33.8ポイント上昇の7.1、精密機械器具は同26.1ポイント上昇の5.3となった。

一方、食料品は前期比26.7ポイント低下の0.0、金属製品・その他は同16.9ポイント低下の0.0となった。

< 来 期 >

来期の業況判断DIは1業種で改善、2業種で横ばい、4業種で悪化を見込んでいる。

	2023年		2024年		(予想)	方向
	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	
部 品 加 工 型	2.7	0.9	6.1	1.8	1.8	→
プラスチック製品	8.3	12.5	▲18.8	6.3	▲12.5	↘
金属製品・その他	2.3	0.0	16.9	0.0	5.1	↗
金属プレス・メッキ	0.0	▲7.1	▲26.7	7.1	0.0	↘
機 械 器 具 型	3.3	▲1.6	▲9.8	9.2	7.7	↘
一般機械器具	▲15.4	▲16.7	0.0	13.3	6.7	↘
電気機械器具	9.1	10.0	▲8.3	9.1	9.1	→
精密機械器具	6.7	▲4.2	▲20.8	5.3	5.3	→
消 費 財 型	3.7	8.7	33.3	4.0	0.0	↘
食 料 品	6.3	7.1	26.7	0.0	▲7.1	↘

<注>10社以上回答のあった個別業種（7業種）

プラスチック製品、金属製品・その他、金属プレス・メッキ、一般機械器具、電気機械器具、精密機械器具、食料品

非製造業

(回答先 448)

■ 卸売業 (回答先 71)

業況・売上額・収益 DI 共に改善、
来期も業況・収益 DI は共に改善する見込み

< 今 期 >

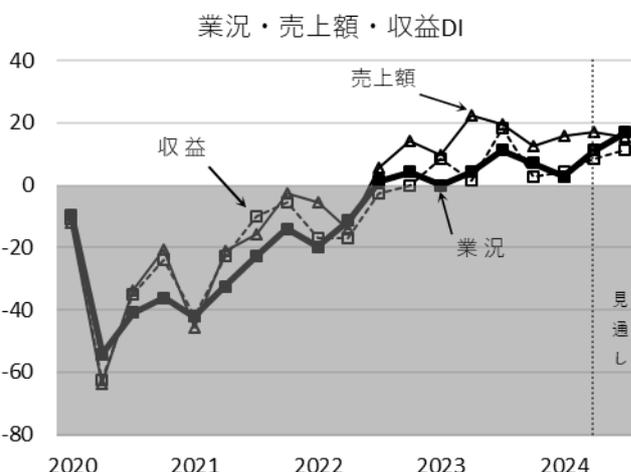
今期の業況判断DIは、前期比8.5ポイント上昇の11.3となった。

売上額DIは前期比1.2ポイント上昇の16.9、収益DIは同4.3ポイント上昇の8.5となった。

販売価格DIは前期比11.2ポイント上昇の40.8、仕入価格DIは同16.9ポイント上昇の60.6となった。

< 来 期 >

来期の業況判断DIは今期比5.6ポイント上昇の16.9、売上額DIは同1.4ポイント低下の15.5、収益DIは同2.8ポイント上昇の11.3を見込んでいる。



< 卸売業 主要DI >

	2023年		2024年		(予想)	方向
	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	
業 況 判 断	11.3	7.0	2.8	11.3	16.9	↗
売 上 額	19.7	12.7	15.7	16.9	15.5	↘
収 益	18.3	2.8	4.2	8.5	11.3	↗
販 売 価 格	32.4	28.2	29.6	40.8	31.0	↘
仕 入 価 格	43.7	45.1	43.7	60.6	50.7	↘
在 庫	7.0	1.4	5.6	2.8	▲1.4	↘
資 金 繰 り	0.0	▲2.9	▲2.8	▲2.8	▲5.6	↘
人 手	▲21.4	▲5.6	▲19.7	▲8.5	▲8.5	→

■ 小売業 (回答先 92)

**業況・売上額・収益 DI 共に改善、
来期は業況・売上額・収益 DI 共に悪化を見込む**

<今 期>

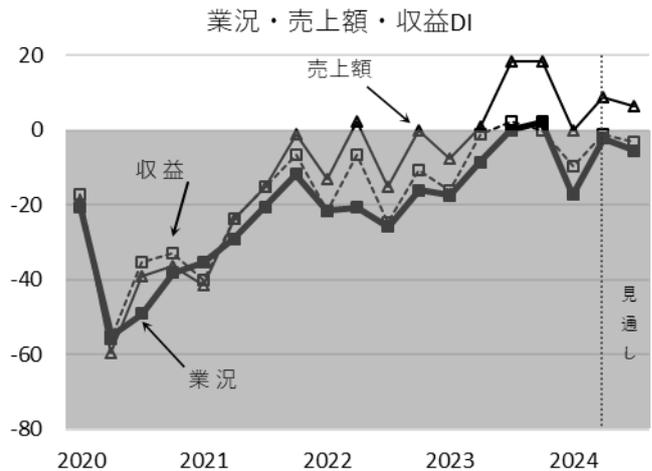
今期の業況判断DIは、前期比15.0ポイント上昇の-2.2となった。

売上額DIは前期比8.7ポイント上昇の8.7、
収益DIは同8.6ポイント上昇の-1.1となった。

販売価格DIは前期比0.3ポイント上昇の
28.3、仕入価格DIは同2.7ポイント低下の
44.6となった。

<来 期>

来期の業況判断DIは今期比3.2ポイント低下の
-5.4、売上額DIは同2.2ポイント低下の
6.5、収益DIは同2.2ポイント低下の-3.3を見
込んでいる。



< 小売業 主要DI >

	2023年		2024年		(予想)	方向
	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	
業況判断	0.0	2.2	▲17.2	▲2.2	▲5.4	↓
売上額	18.3	18.3	0.0	8.7	6.5	↓
収益	2.2	0.0	▲9.7	▲1.1	▲3.3	↓
販売価格	32.3	35.5	28.0	28.3	25.0	↓
仕入価格	50.5	57.0	47.3	44.6	41.3	↓
在庫	4.3	3.2	8.6	▲3.3	▲5.4	↓
資金繰り	▲14.0	▲12.9	▲19.4	▲10.9	▲12.0	↓
人手	▲6.5	▲10.8	▲15.2	▲7.6	▲8.7	↓

■ サービス業 (回答先 99)

**業況・収益DI共に改善、
来期は業況・売上額・収益DI共に
改善の見込み**

<今 期>

今期の業況判断DIは、前期比6.0ポイント上昇
の10.1となった。

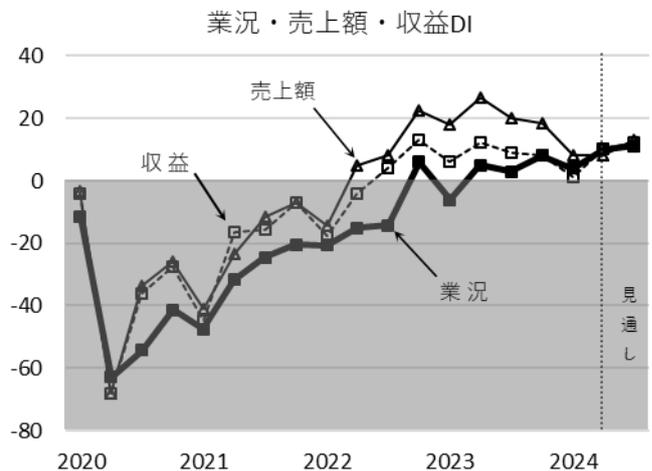
売上額DIは前期比0.1ポイント低下の8.1、
収益DIは同9.1ポイント上昇の10.1となった。

料金価格DIは前期比8.0ポイント上昇の
19.2、材料価格DIは同6.9ポイント上昇の
29.3となった。

人手DIは、前期比4.4ポイント上昇の-28.3
となった。

<来 期>

来期の業況判断DIは今期比1.0ポイント上昇の
11.1、売上額DIは同5.0ポイント上昇の
13.1、収益DIは同2.0ポイント上昇の12.1を
見込んでいる。



< サービス業 主要DI >

	2023年		2024年		(予想)	方向
	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	
業況判断	3.0	8.2	4.1	10.1	11.1	↑
売上額	20.2	18.4	8.2	8.1	13.1	↑
収益	9.1	8.2	1.0	10.1	12.1	↑
料金価格	17.2	16.3	11.2	19.2	17.2	↓
材料価格	30.3	37.1	22.4	29.3	28.3	↓
資金繰り	▲4.0	▲8.2	▲7.1	0.0	▲2.0	↓
人手	▲30.3	▲26.8	▲32.7	▲28.3	▲28.3	→

■ 建設業（回答先 119）

業況DIは悪化に転じるもプラスを維持、
来期は業況・売上額・収益DI 共に
改善する見込み

<今 期>

今期の業況判断DIは、前期比6.1ポイント低下の18.5となった。

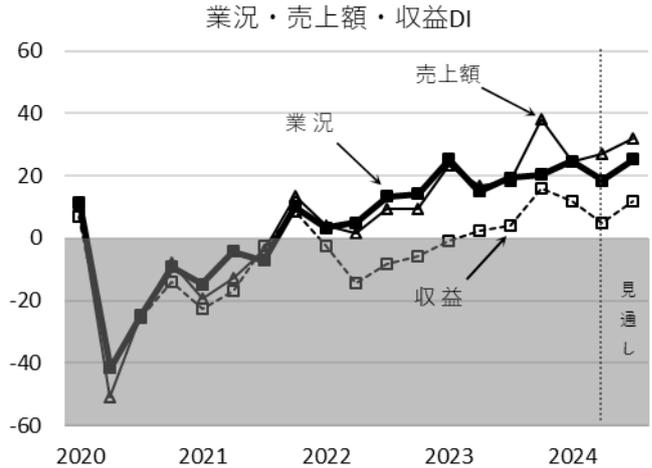
売上額DIは前期比2.3ポイント上昇の26.9、
収益DIは同7.0ポイント低下の5.0となった。

請負価格DIは前期比7.0ポイント低下の
26.1、材料価格DIは同13.9ポイント上昇の
58.8となった。

人手DIは、前期比7.8ポイント上昇の
-28.6となった。

<来 期>

来期の業況判断DIは今期比6.7ポイント上昇の
25.2、売上額DIは同5.0ポイント上昇の
31.9、収益DIは同6.8ポイント上昇の11.8を
見込んでいる。



< 建設業 主要DI >

	2023年		2024年		(予想)	方向
	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	
業況判断	19.3	20.3	24.6	18.5	25.2	↗
売上額	18.5	38.1	24.6	26.9	31.9	↗
収益	4.2	16.1	12.0	5.0	11.8	↗
請負価格	22.7	28.0	33.1	26.1	23.5	↘
材料価格	52.9	59.3	44.9	58.8	47.9	↘
在庫	0.8	3.4	0.8	0.8	0.0	↘
資金繰り	6.7	5.9	7.6	6.7	5.9	↘
人手	▲33.9	▲38.1	▲36.4	▲28.6	▲28.6	→

■ 不動産業（回答先 67）

業況DIは悪化しマイナスに、
来期は業況・売上額・収益DI 共に
悪化する見込み

<今 期>

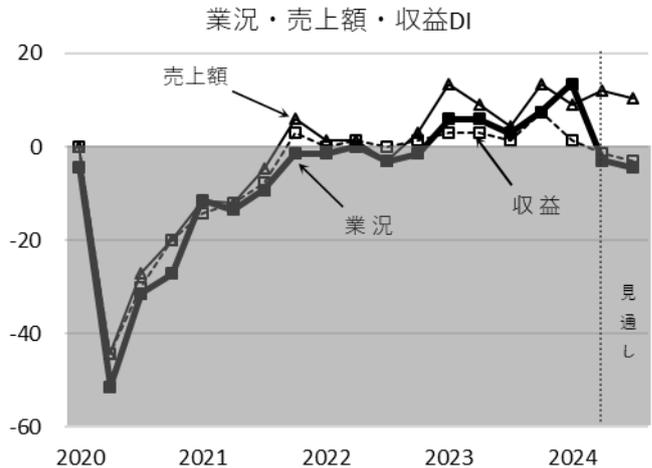
今期の業況判断DIは前期比16.4ポイント低下の
-3.0となった。

売上額DIは、前期比2.9ポイント上昇の11.9、
収益DIは同3.0ポイント低下の-1.5となった。

販売価格DIは前期比1.5ポイント低下の
31.3、仕入価格DIは同8.9ポイント低下の
43.3となった。

<来 期>

来期の業況判断DIは今期比1.5ポイント低下の
-4.5、売上額DIは同1.5ポイント低下の
10.4、収益DIは同1.5ポイント低下の-3.0を
見込んでいる。



< 不動産業 主要DI >

	2023年		2024年		(予想)	方向
	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	
業況判断	3.0	7.5	13.4	▲3.0	▲4.5	↘
売上額	4.5	13.4	9.0	11.9	10.4	↘
収益	1.5	7.5	1.5	▲1.5	▲3.0	↘
販売価格	28.4	31.3	32.8	31.3	31.3	→
仕入価格	32.8	40.3	52.2	43.3	44.8	↗
在庫	▲7.5	▲10.4	▲6.0	▲6.0	▲13.4	↘
資金繰り	3.0	3.0	0.0	▲1.5	0.0	↗
人手	▲6.0	▲9.0	▲10.4	1.5	1.5	→

《コメント》

＜製造業＞

- 販売先の事業規模縮小により売上が減少している。〔衣服・その他の繊維製品〕
- 製品の需要は高まっているが市場環境の変化や同業他社の動向、原材料価格の高騰などの影響により、利益率が悪化傾向にある。〔電気機械器具〕
- 販売価格改定により、原材料価格の高騰による影響を低減している。〔非鉄金属〕

＜卸売業＞

- 度重なる仕入れ価格の上昇や賃上げにより、経営状況が悪化しつつある。〔食料・飲料〕
- 海外の農作物の仕入れ価格が天候不順などの影響で高騰している。〔農畜産物・水産物〕
- 前期に比べ、仕入れ価格の上昇分を販売価格に転嫁できている。〔その他〕

＜小売業＞

- 円安による仕入れ価格の上昇に伴い収益力が低下している。〔貴金属〕
- 仕入れ価格の上昇分を販売価格に転嫁できていないため、利幅が減少傾向にある。〔飲食料品〕
- 客足は増加傾向にあるが、材料費の値上げにより利幅は減少傾向にある。〔飲食店〕

＜サービス業＞

- 人手不足解消に向け、技能実習生の受け入れを開始した。〔自動車整備〕
- 2024年問題を契機として価格交渉を実施し、受注単価が上昇した。〔その他〕
- 物騒な事件が多く警備関連の委託業務が増加傾向にある。〔その他〕

＜建設業＞

- 受注は堅調に推移も人材の確保に課題がある。〔識別工事（塗装工事）〕
- 人手不足のため外注により対応するも、外注費が高く収益率は低下した。〔設備工事〕
- 職人の高齢化が深刻な課題となっている。〔識別工事（土木工事）〕

＜不動産業＞

- 一定の不動産需要が継続しているため、経営は安定している。〔不動産代理・仲介〕
- 仲介手数料が大きな収益の柱となっている。〔建売・土地売買〕

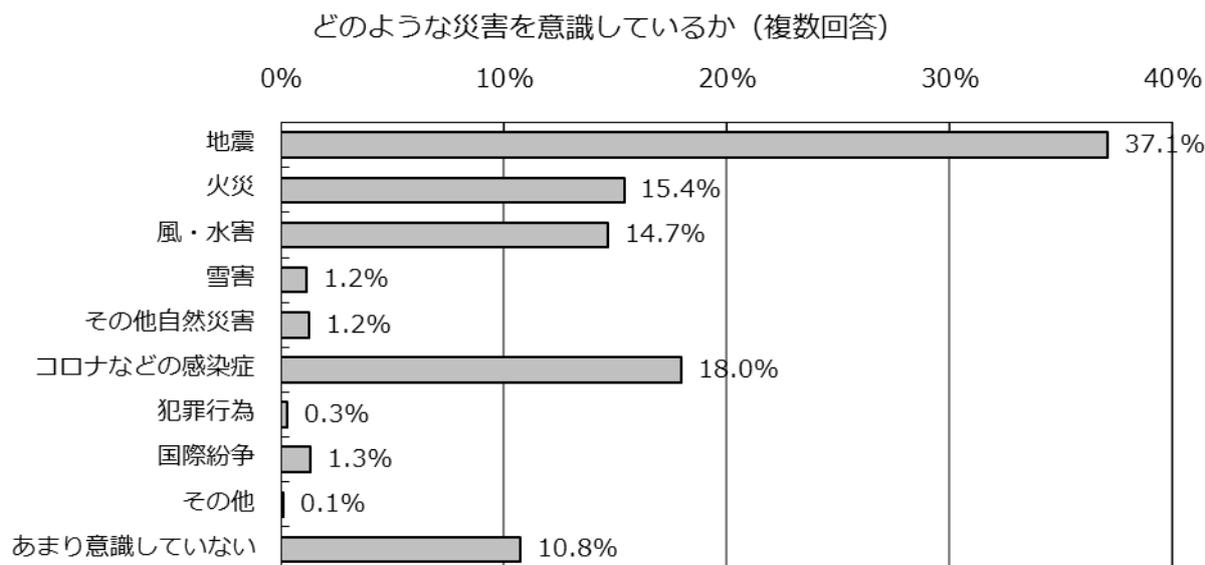
特別調査「中小企業における災害等への対応について」

※回答により合計が100%とならない場合があります。

Q1. どのような災害を意識しているかについて

「地震」(37.1%)が最多、次いで「コロナなどの感染症」(18.0%)が続く

事業を継続していく中で、意識している災害については、「地震」が最多(37.1%)であった。次いで「コロナなどの感染症」(18.0%)、「火災」(15.4%)、「風・水害」(14.7%)が続いた。

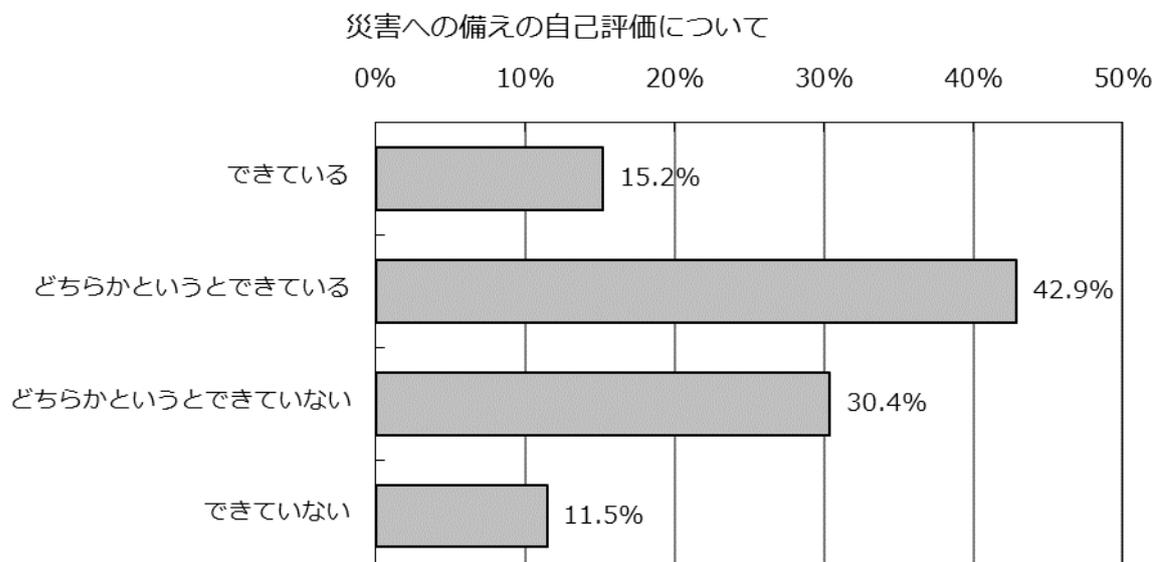


Q2. 災害への備えについて

【災害への備えに対する自己評価】

「どちらかというとできている」(42.9%)が最多回答

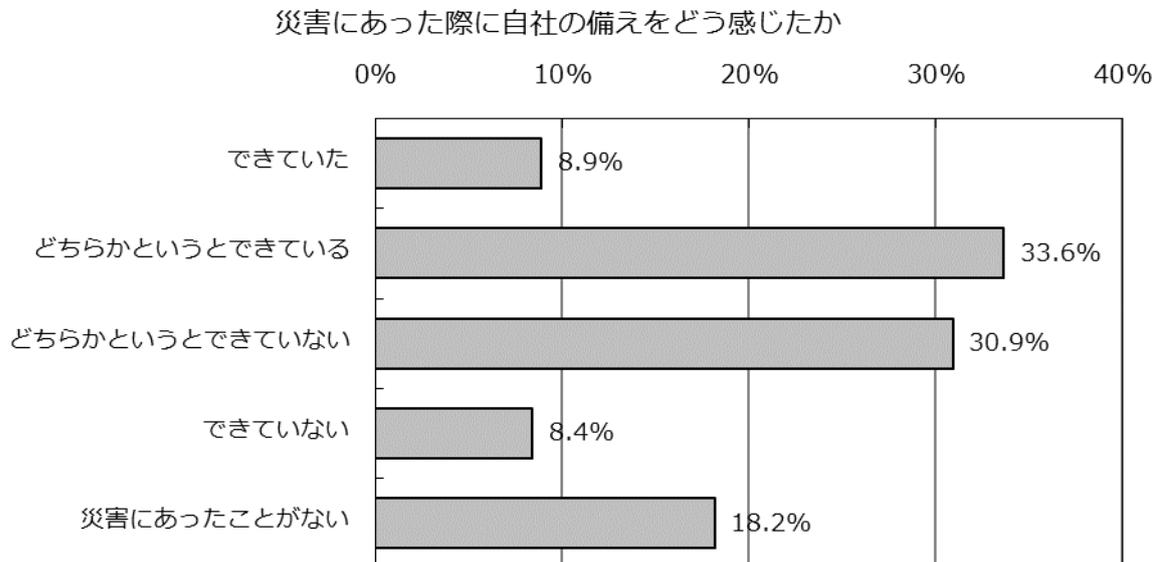
災害への備えに関する自己評価では、「どちらかというとできている」(42.9%)が最多回答であった。次いで「どちらかというとできていない」(30.4%)が続いた。



【災害にあった際に自社の備えに対する自己評価】

「どちらかというとできている」(33.6%)が 最多回答

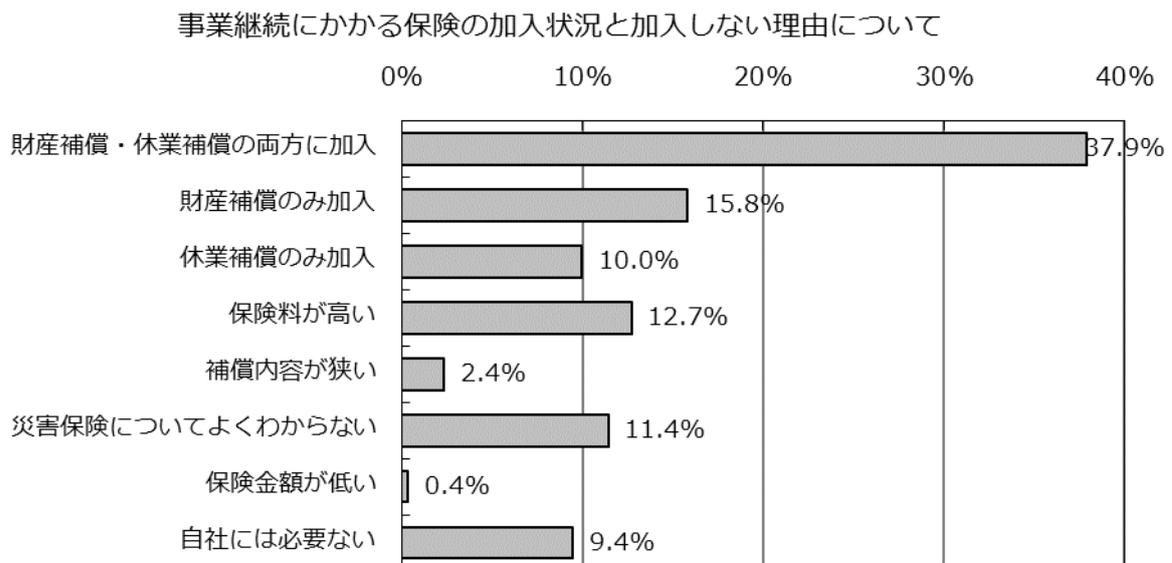
実際に災害にあった際の自社の備えに関する自己評価では、「どちらかというとできている」(33.6%)が最多回答であった。次いで「どちらかというとできていない」(30.9%)が続いた。



Q3. 事業継続にかかる保険(財産補償・休業補償)の加入状況と加入しない理由について

「財産補償・休業補償の両方に加入」(37.9%)が最多回答

事業継続にかかる保険(財産補償・休業補償)の加入状況と加入しない理由については、「財産補償・休業補償の両方に加入」が最多回答(37.9%)となった。次いで、「財産補償のみ加入」(15.8%)が続いた。

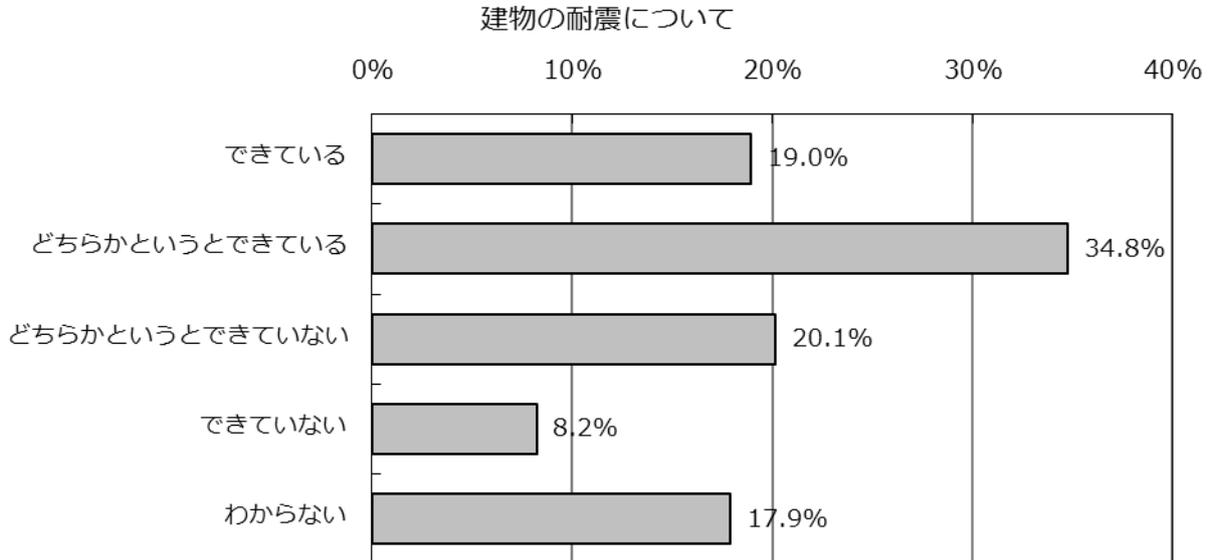


Q4. 建物の耐震対応と自社所在地周辺のハザードマップの確認状況について

【建物の耐震について】

「どちらかというとできている」(34.8%)が最多回答

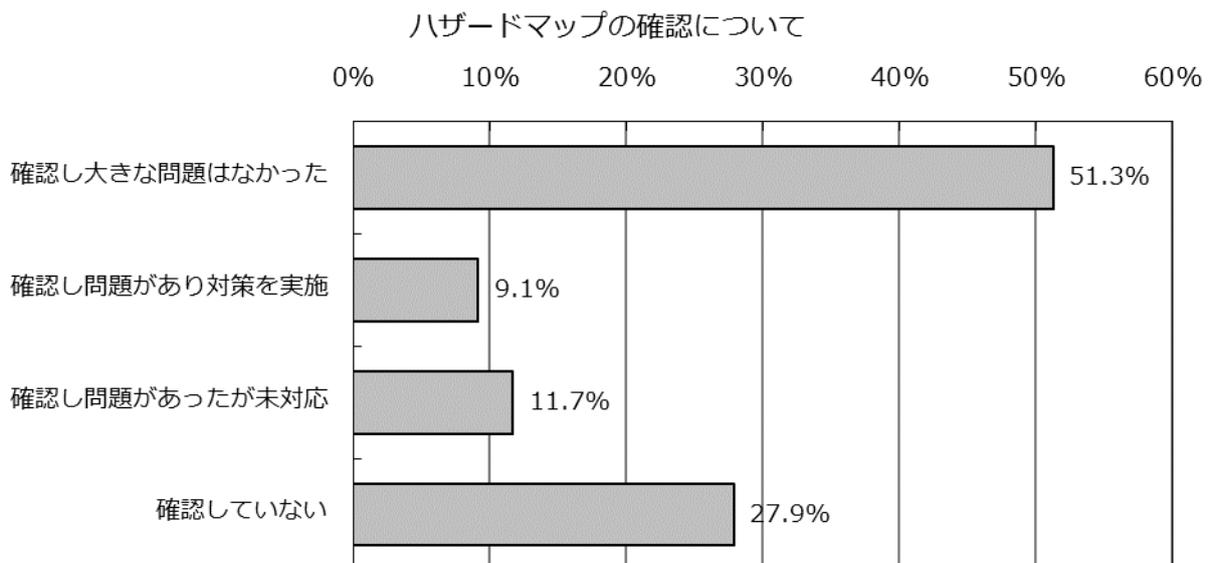
自社が利用している建物の耐震については、「どちらかというとできている」(34.8%)が最多回答であった。次いで、「どちらかというとできていない」(20.1%)、「できている」(19.0%)が続いた。



【自社所在地周辺のハザードマップの確認状況】

「確認し大きな問題はなかった」(51.3%)が最多回答

自社所在地周辺のハザードマップの確認状況では、「確認し大きな問題はなかった」(51.3%)が最多回答であった。次いで、「確認していない」(27.9%)が続いた。

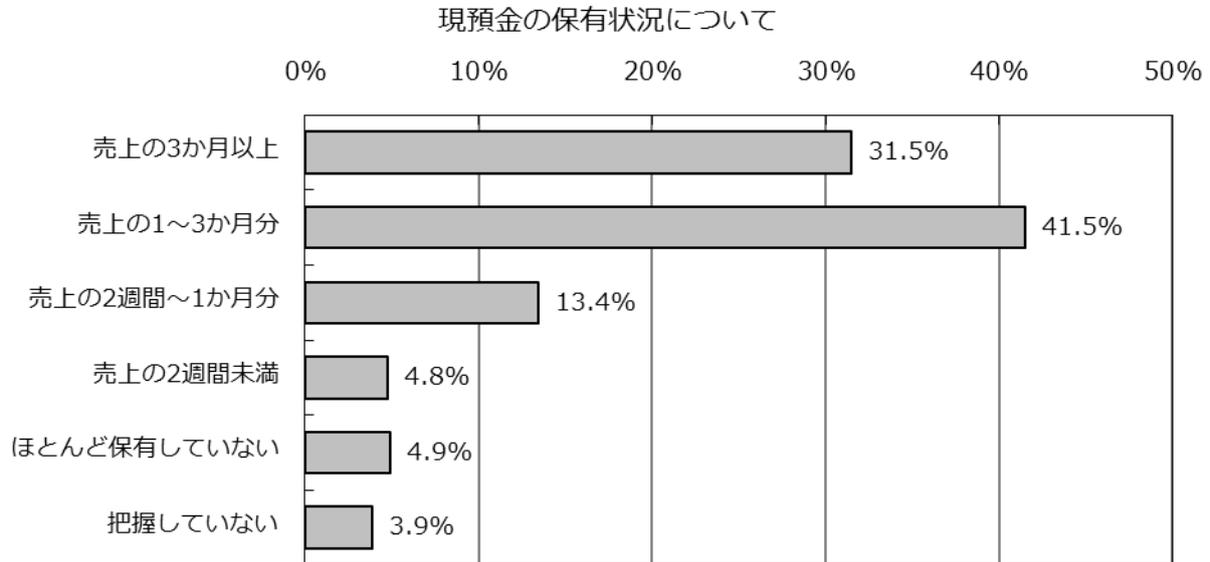


Q5. 災害時の対応について

【現預金の保有状況】

「売上の1～3か月分」(41.5%)が最多回答

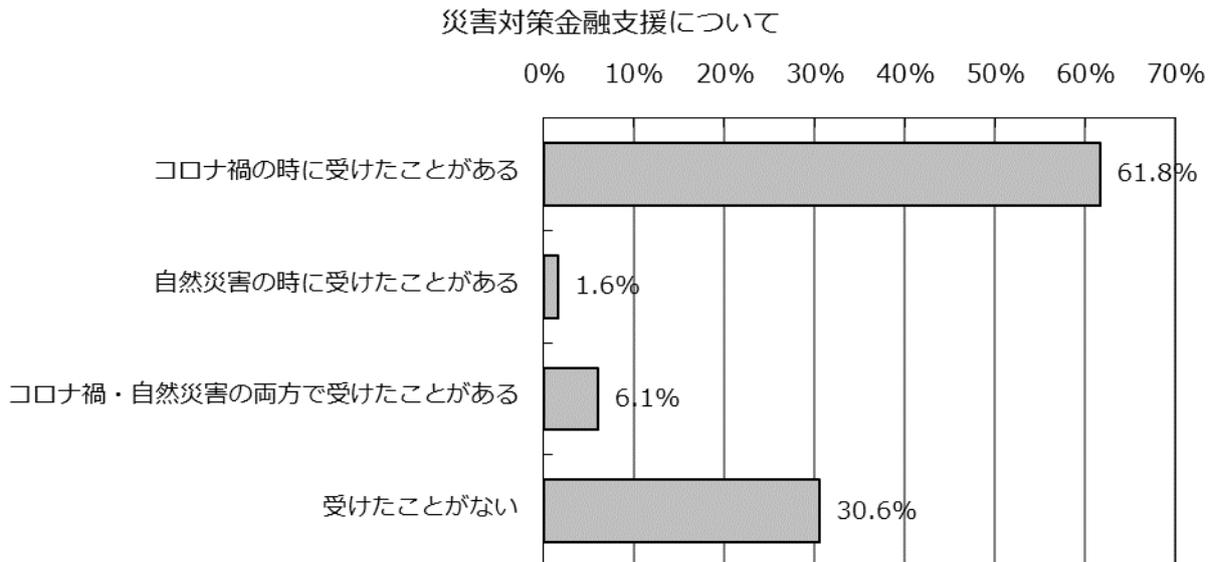
BCP 策定基準などで推奨されている一定程度の現預金の保有状況については、「売上の1～3か月分」が最多回答(41.5%)で、次いで「売上の3か月以上」(31.5%)が続いた。



【災害対策金融支援(災害復旧貸付やセーフティネット保証4号など)の利用状況】

「コロナ禍の時に受けたことがある」(61.8%)が最多回答

自治体や信用保証協会、政府系金融機関などの公的団体から、災害対策金融支援(災害復旧貸付やセーフティネット保証4号など)を受けたことがあるかについては、「コロナ禍の時に受けたことがある」が最多回答(61.8%)、次いで、「受けたことがない」(30.6%)が続いた。



今回の誌上セミナーは休載とさせていただきます。

《よこしん》景況レポート

2024年7月発行 NO.132

横浜信用金庫 経営企画部

〒231-8466 横浜市中区尾上町2丁目16番地1

TEL. 045-680-6912